

環境保全行動 報告提出書
自動車使用管理実施

2023 年 7 月 12 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒 062-0045
札幌市豊平区羊ヶ丘1番地
株式会社札幌ドーム
(代表者名) 代表取締役社長 山川 広行

氏名

(代表者名) 代表取締役社長 山川 広行

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第13条第4項 の規定により、環境保全行動
第23条第3項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報告期間		2022 年 4 月 1 日 ~		2023 年 3 月 31 日		
事業の規模	従業員数	64	人	原油換算した 燃料・熱・電気の合計量	3030.2	kl
	使用床面積	100470.99	m ²			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	8	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	6830	t-CO ₂	N ₂ O	
非エネルギー起源CO ₂			t-CO ₂	HFC		t-CO ₂
報告書の担当部署		担当部署名				
		担当者氏名				
		電話/FAX				
		電子メールアドレス				
計画書提出根拠		条例第13条 (環境保全行動計画)		<input checked="" type="checkbox"/> 第1項 <input type="checkbox"/> 第3項		
		条例第23条 (自動車使用管理計画)		<input type="checkbox"/> 第1項 <input checked="" type="checkbox"/> 第2項		
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ~		2025 年 3 月 31 日		
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり				
備考						

- 注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の3月31日現在で記入してください。
- 2 事業所数は、報告年度に係る年度の3月31日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法により行ってください。
- 5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。
- 備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

【報告期間】

2022年 4月 1日～ 2023年 3月 31日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
CO2排出量の削減	9641 t	60 %	6403 t	34 %	△						
一般ごみ排出量の削減	214 t	40 %	166 t	22 %	△						
		%		%							
		%		%							
		%		%							
		%		%							

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
 2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
 ○：目標削減率を達成
 △：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
 ×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理由
CO2排出量の削減	△	新型コロナウイルス感染に伴う各種制限緩和が進み、イベント数、来場者数ともに増加したが、照明類のLED化や空調・照明などの緻密な制御と適正運用に努めたことに加え、前年と比較し夏場の外気温が低く、夜間の外気を流入させて館内温度を下げるなどの工夫も功を奏し、CO2の排出量は前年比9.4%の削減となった。
一般ごみ排出量の削減	△	新型コロナウイルスからの回復により、イベント来場者数が倍増したことで、一般ごみの排出量も増加した。またハイブリット芝導入により芝ごみがリサイクルできなくなり、一般ごみとして処分せざるを得なくなったため、一般ごみは増加した。